

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 2月 2日

事業所名 オールケア山田東(児童発達支援)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用児に応じてマットなど配慮しています。	今後も適切なスペースを作っていきます。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		専門職員の基準は満たしております。	今後もより充実した支援につながるように、人材確保に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		玄関から車椅子で入れるようになっております。	より過ごしやすい空間になるように、時間によって動線を変えるなどの配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		つねに清潔を保つようにしています。	子ども達が楽しく、視覚、聴覚などを生かせる空間づくりをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		日々の朝礼終礼、ミーティングで、確認をしています。	常にPDCAサイクルの重要性を意識して、朝礼終礼でも浸透させていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者からの評価内容をすぐに改善項目に上げていきます。	情報の発信が足りていないこともあるので、もっと伝える事を意識していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		毎年法人ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	法人内部監査を受けている。	内部監査を受けて、積極的に業務改善に努めていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		内部、外部研修を積極的に受けています。	専門性、人間性共に高められるように、今後も研修参加してまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		ご家族との関わりを大切にしています。	聞き取りの中でどれだけのニーズにお応えできているのか、しっかりと確認をしていきたいです。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	アセスメントシート、手順書を使用している。	手順書の更新ができていないので、周知徹底ができていないものがある。随時更新していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		発達段階に応じて大切なポイントを考えて実行している。	ご家族様への確認が不足していたので、今後の対応に反映させます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		毎月の関わり方の目標を上げている。	目標設定はしているが、常に意識をして振り返りに努めたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		<input type="radio"/>	時期に応じてそれぞれに立案はしている。	チームで意識をしての立案に至っていないので、計画を立てて進めていくようにします。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節に合わせたプログラムを考えている	ご家族様に参加していただける行事も計画していきます。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		他利用児との関わりを意識的に持つようにしている。	理学療法士、作業療法士による日々の身体の使い方なども気を付けて取り入れていきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて本日の予定を確認しています。	本日の業務内容、注意点、前回利用時の様子確認などを行っています。申し送りノートの活用もしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		申し送りノートの記入を丁寧に行っている。	朝礼終礼に参加できない職員もあり、その日のうちに振り返りが出来ないこともある為、申し送りノートや声掛けを大切にしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		申し送りノートへの落とし込み時に記入が出来ているかの確認をしています。	日々の記録をもとに一ヶ月の記録をまとめ、次月への関わりに活かしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		生活、体調の変化など常に把握するように努めています。	ご家族様とのモニタリングをもっと確実にを行い、計画に反映させます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理者が参加しております。	児発管が職員に周知していますが、今後はケース担当者も同席できるような機会を作っていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時には連携を取り情報共有しています。	関わりのある機関の把握をして、こちらからの発信もおこないます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		電話での問い合わせなどにも積極的に対応しています。	こちらからの情報発信を増やし、連携が取りやすい関係作りに努めます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医指示書を活用しています。	状態の変化に合わせて、入退院時のカンファレンスなども働きかけたいです。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現状、対象児童がいませんでした。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		学校での様子を聞き取り、情報共有していた。	常に現状把握を務め、児童の実態を共有していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域連絡会等で連携し、研修参加もしている。	必要に応じて情報共有は進めています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域公民館等で健常児と過ごす場面がある。	交流を持つところまでは達していないので、引き続き進めていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		情報共有していきます。	地域連絡会での情報を活かしていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノート、電話など積極的に活用しています。	日々の記録をしっかりと行い、送迎時に補足を行うなど常に言葉を交わすように気を付けております。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ペアレントトレーニングについての意識を上げています。	常にニーズを聞き取り、必要な支援を行っています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約、変更時に説明をしています。	契約書、重要事項説明書等で説明をさせていただきます。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		適宜お聞きしたことを活かせるようにしています。	モニタリングが追いついていないこともあります。定期的なモニタリング、評価につなげます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時の会話、ご家族様のご様子を気を付けています。	気になる事があればもちろんのこと、何もないかという意識を常に持ってお声掛けをしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	行事後にティータイムを設定した。	ご家族様に参加して頂ける行事を計画して、お顔を合わせる機会を増やします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員ですぐに周知し、対応を心がけています。	苦情相談については法人内でも共有し、改善につとめています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		写真をお見せしたり、行事予定や連絡体制等、届くようにしています。	定期的な会報発行が出来ていないことがありました。しっかりと発信してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		守秘義務の徹底に努めています。	今後も定期的に職員間で注意してまいります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		日々の様子をしっかりと伝え、伝わっているのか確認している。	記録ノート、電話、写真や動画など、工夫して確認していただいています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	公民館との交流があります。	回数や交流方法、新たな行事計画を進めていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	感染症対策は常に発信しております。	発生を想定して準備していることの周知が出来ていなかったため、発信していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	災害の種類を想定し必要な準備をしている。	できていない月があり、計画をしっかりと実行していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		新規利用時の聞き取りに加え、変更ないかの確認をしています。	予防接種については、ご家族様からの聞き取りが主です。発作の変化について常にご家族様と共有しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示ではなく、ご家族様からの聞き取りで対応しています。室内掲示にて対応間違いのないようにしています。	新規利用の際に指示書にて確認していくようにします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例の改善提案をあげるようにしています。	自ら考え事例検討する環境づくりをして、事故防止に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		身体拘束と共に確認会議をしています。	権利擁護の研修参加職員が、会議で伝えていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		1年に1度検証会議を行い、ご家族様への理解も図っている。	やむを得ず身体拘束する場合はご家族の了承を得た上でやっている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 オールケア山田東(児童発達支援) 保護者等数(6名) 回収数 5 割合 83 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4			1		普段からご家族にもデイ室内を見て頂く機会を設けます。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	4			1		職員配置の説明や専門性を高める努力を重ねます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5					どの場所でも危険のないように気を付けてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5					普段から清潔を保ち、子どもたちが楽しめる空間作りに努め、ご家族にもデイ室内を見て頂く機会を設けます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	5					引き続きしっかりとご意見を聞き作成して参ります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4			1		ガイドラインに則り、それぞれに合わせた支援内容の計画、提供を分かりやすく行っていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5					支援内容を理解して進めて参ります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5					新たな経験をしていただけるよう活動内容を検討して参ります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4			1		市の児童館にて地域の子供達と関わる機会がありますが、場所や回数を増やす努力をいたします。
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4	1				管理者、児発管がより丁寧な説明を心がけます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5					面談を行い丁寧に対応させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	1		1	3		ご家族の聞き取りを丁寧に行い、より必要な支援を提案できるようにいたします。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					常に気を付けて情報共有につ努めております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4	1				定期的な面談をから必要な支援へと繋げてまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1		1	3		保護者同士の繋がりが深められるように、定期的な活動の場を提供できるようにいたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5					丁寧な対応を心がけて参ります。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	5					送迎時、連絡ノート、電話などを通じて密なコミュニケーションを心がけております。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5					日々の写真などをご家族様にお渡ししたりしておりますが、会報やホームページでの発信にも努めてまいります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4			1		ご理解いただけるように丁寧に説明を行います。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4			1		マニュアルの見直しを定期的に行い、発信してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			4		きちんと発信してまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4			1		どの利用児様にも楽しみたと言って頂けるように、工夫してまいります。
	23	事業所の支援に満足している	5				平日のどちらかでも、開けて頂けると嬉しいです	職員の配置を考えると現状では難しいですが、今後の課題といたします

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 2月 1日

事業所名 オールケア山田東(放課後等デイサービス)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用児に応じてマットなど配慮しています。	今後も適切なスペースを作っていきます。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		専門職員の基準は満たしております。	今後もより充実した支援につなげるように、人材確保に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		玄関から室内まで車椅子で過ごせるようになっています。	より過ごしやすい空間になるように、時間によって動線を変えるなどの配慮をしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		日々の朝礼終礼、ミーティングで、確認しています。	常にPDCAサイクルの重要性をいきして、朝礼終礼でも浸透させていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者からの評価内容をすぐに改善項目に上げていきます。	情報の発信が足りていないこともあるので、もっと伝える事を意識していきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		毎年法人ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	法人内部監査をうけている。	内部監査を受けて積極的に業務改善につとめます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		内部外部研修を積極的にうけている。	専門性、人間性共に高められるように、今後も研修参加してまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		ご家族様との関わりを大切にしています。	聞き取りの中でどれだけのニーズにお応えできているのか、しっかりと確認をしていきたいです。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	アセスメントシート、手順書を使用している。	手順書の更新が出来ておらず、周知徹底が出来ていないものがあります。随時更新していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		<input type="radio"/>	時期に応じてそれぞれに立案はしている。	チームを意識しての立案に至っていないので、計画を立てて進めていくようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節に合わせたプログラムを考えている。	ご家族様に参加して頂ける行事も計画していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		休日、長期休暇には変化をつけている。	ゆっくりと取り組めること、日課となるようなこと、変化をつけて楽しんでもらいます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		他利用児との関わりを意識的に持つようにしています。	理学療法士、作業療法士による日々の身体の使い方なども気を付けて取り入れていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼にて本日の予定を確認しています。	本日の業務内容、注意点、前回利用時の様子確認などをしています。申し送りノートの活用もしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		申し送りノートの記入を丁寧にしています。	朝礼終礼に参加して頂ける行事できない職員もあり、その日のうちに振り返りが出来ないこともある為、申し送りノートや声掛けも大切にしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		申し送りノートへの落とし込み時に記入ができていないのか、確認しています。	日々の記録をもとに1ヶ月の記録をまとめ、次月への関わりにかかっています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		生活、体調の変化など常に把握するように、つとめています。	ご家族様とのモニタリングをもっと確実に行い、計画に反映させていきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		基本活動を組み合わせるようにしています。	ガイドラインの周知徹底をはかり、活動計画にかかします。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理者が参加しております。	児発管が職員に周知しておりますが、今後はケース担当者も同席できる機会をつくりまします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	保護者を通じてのやり取りで把握している。	学校とも年間行事などの確認を早めに行っていくようにしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	主治医指示書を確認している。	変更の確認など、関係機関との連携強化をしていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	研修先等で顔合わせをして関係作りをしています。	情報共有に至っていない事も多いので、しっかりと関係作りを続けていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	お互いに見学をしています。	情報提供をして関係継続している方と、来ていない方がいるので、全ての方がそうなるように努力いたします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	地域連絡会等で連携し、研修参加もしている。	必要に応じて情報共有は進めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	地域の公民館等との交流がある。	年に数回と少なく、関わり方もしっかりと検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	情報共有していきます。	地域連絡会等での情報を活かしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡ノート、電話など積極的に活用しています。	日々の記録をしっかりと行い、送迎時に補足を行うなど常に言葉を交わすように気を付けております。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	ペアレント・トレーニングについて意識してまいります。	常にニーズを聞き取り、必要な支援を行ってまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約、変更時に説明をしております。	契約時、重要事項等で説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	送迎時の御様子に気を付けております。	心配やお困りごとをいち早く理解し、必要な支援に繋げていくようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	行事後にティータイムを設定した。	ご家族に参加して頂ける行事を計画して、お顔を合わせる機会を増やします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	職員ですぐに周知し、対応を心がけます。	苦情相談については、法人内でも共有し、改善に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	写真をお見せしたり、行事や連絡体制等、届くようにしています。	定期的な会報発行が出来ていないことがありました。しっかりと発信してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○	守秘義務の徹底に努めています。	今後も定期的に、職員間で注意してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	日々の様子をしっかりと伝え、それが伝わっているのかを確認しています。	記録ノート、電話、写真や動画など、工夫して確認していただいております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	公民館との交流があります。	回数や交流方法、新たな行事計画を進めてまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	感染症対策は常に発信しております。	発生を想定して準備していることの周知が出来ていなかったため、発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>	災害の種類想定をし必要な準備をしている。	出来ていない月があり、計画をしっかりと実行していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		身体拘束と共に確認をしています。	権利擁護の研修参加職員が、会議で伝えていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		1年に1度検証会議を行い、ご家族様への理解も図っている。	やむを得ず身体拘束を行う場合はご家族様の了承を得た上で行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<input type="radio"/>	医師の指示ではなくご家族からの聞き取りで対応しています。室内掲示にて対応間違いのないようにしています。	新規利用の際には指示書にて確認していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例の改善提案をあげるようにしています。	自ら考え事例検討する環境づくりをして、事故防止に努めます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2 年 2 月 1日

事業所名 オールケア山田東(放課後等デイサービス保護者等数(児童数) 21名 回収数 17 割合 77 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2			寝かせるスペース、お風呂スペース活動スペースなど多様にあるが、動ける児童についてはわからない。	利用される児童によってスペースを確保するように動線を考えて、物の配置を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17					今後も人材確保、育成に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	1				玄関前での送迎車の乗り降りには配慮必要ですが、室内については必要に応じて対応しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15			1	無回答1	子どもや保護者からの聞き取りをしっかりを行いニーズに合った支援計画を提示していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16				無回答1	いろいろな活動ができるように工夫をして進めていくように努めます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	4	2			年に数回公民館と交流をしますが、こちらからも働きかけて回数を持つようにいたします。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				無回答1	児発管がより丁寧に説明をしております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17					今後もコミュニケーションを密にとって参ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	6	1		今のところ助言が必要としていないので分からない。	モニタリングに努め、一緒に考えてまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5	4			保護者会等を行う事や行事への参加を呼びかけ、関係作りにも努めます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2			無回答1	適切かつ迅速な対応が出来ていないことがあるかも知れませんが、聞き取りを行い即対応を心がけます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				配慮が欠如しないように心配りいたします。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	2				発信内容が足りなかったと思われそうですので、増やしてまいります。
14 個人情報に十分注意しているか	17					今後も気を付けて参ります。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17					今後も発信してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	5			無回答 見ていないので分からない。	しっかりと発信してまいります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	1				楽しみだと行っていただけるように、工夫してまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	17				いつもありがとうございます	今後も満足していただけるように、お気持ちに添って努力いたします。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。